



西川のよさを味わう教育活動

No.1 『スキー教室』 =雪と親しむ=

日本一の雪国宣言、立地条件のいい間沢スキー場を持つ西川町。雪の恵みを感じながら、冬期間の体力づくりに役立つスキーは、学習内容から外すことはできません。今年も、多くの保護者、スキークラブの先生にご協力いただき、スキー教室を実施することができました。たくさん教えていただきました。一人一人をよく見てくださり、レベルに合わせた指導をしていただいたおかげで、みるみるうちに上達していきました。子どもたちもうまくなっていることが実感できるため、スキーが好きになりました。

低学年の時には、お母さん方からは、転んだ児童のフォローや食事の世話をしてくださったので大変たすかりました。ありがとうございました。

スキー教室をきっかけに、スキー場へ通う児童が増えたこともうれしいことです。これからも、スキーを楽しんでほしいと思います。



No.2 『雪遊び』

=雪と戯れる=

中庭にはたくさんの雪を利用して、大きな坂を作っていました。低学年のスキー練習や休み時間のそり遊びなど、雪を楽しんでいます。先月、保育園の年長さんが、入学も間近なので、学校に遊びに来てくれました。その時、都合のつく児童が外に飛び出し、一緒に遊びました。高い位置からのジャンプやそり滑り、すもうなど雪遊びを通して交流しました。また機会があれば、遊びに来てくれるそうです。

また、気温が下がった朝は、雪が固まってカチカチになります。その上を歩くと、雪で足を運ぶことができない場所にも簡単にいくことができます。ピオトープはどうなっているのかな。サクラの木は、いつごろ咲くのだろう。かた雪を利用して探検に出発した学年もありました。

月山スノーランドへ行った1年生は、様々なアクティビティで雪を満喫してきました。雪国に生まれた特権です。



【お礼の手紙より】

☆スキーが苦手だったけど先生に教えてもらってできなかった止まることやスピードを落とすときや滑る時は余計にストックを使わないことを教えてもらってできるようになって、うれしくてスキーが好きになりました。

☆私は、スキー教室のときにはじめて上級に連れてってもらって自信ができました。上級に行ってからお父さんといろいろなスキー場へいけるようになってひまな日はほとんどスキーに行くことができました。また教えてもらってつぎはパラレルがしたいです。

No.3 『釜めし作り』

=地元食材をいかす=



地域へ発信！ 6年生

先月、6年生が、町長へ提案したものの中に「西川町のおいしいものをもっと広げたい」ということがありました。そこで、西川町の特産物が入ったお弁当を考え、山菜、モルトポークを使った「西川町のおいしい釜めし」を作ることにしました。1回目は、自分たちだけで考え作ってみました。おいしくはできたもののインパクトが足りないなどの課題が残りました。また、できたものを専門の方に評価していただきたいということで2回目は、飲食業組合の阿部誠さん、阿部美代子さん、商工会より千田さんが来校して、アドバイスをしてくださりました。

まだまだ改善するところはありますが、「町のイベントで出してみてもどうか。」といううれしいお話もいただきました。

町民のみなさま、西川町のおいしい釜めしを販売した際は、どうぞご賞味ください。実現できるよう学習を進めていきます。

日本の伝統を学ぶ

=音楽編=

6年生の音楽では、海味の愛宕神社雅楽保存会の皆さんをお迎えし、雅楽の学習を行いました。正月には必ず耳にする『越天楽』を演奏していただき、その後楽器の演奏に挑戦しました。音を出すことが非常に難しい楽器ですが、ちょっとした気配を感じると、「やったあ」と歓声があがりました。興味を持った児童も多く、後継者育成が課題と現状をお話くださった保存会の皆さんは、明るい未来が期待できると喜んでいました。

児童の感想 「とても難しかったけれど、何とかしようと挑戦することが楽しかった。」そして試行錯誤して音が出た時の感動はとても大きかったです。

4・5年生の音楽では、輝秀会の尺八の福島先生と三味線の小田島先生をお迎えして和楽器の学習を行いました。三味線や尺八の楽器の歴史や特徴についてお話をお聞きしました。そして、音楽の教科書に掲載されている曲や東北

の民謡を演奏していただきました。本物の演奏を聞いた子どもたちは、演奏の様子を釘のように見ていました。最後の子ども感想では、「初めて三味線の音を聞くことができてよかった。」と話してくれました。本物を演奏を聴くことができたとても素晴らしい機会となり、学びに深まりができました。



雅楽の達人から



R八、三味線の達人から

体ストレッチワンポイントアドバイスを終えて・・・



金曜日の立腰の活動に合わせて、健康運動士の伊藤貢さんよりオンラインで「体ストレッチ」を教えてくださいました。運動で「体をととのえる」ことで、体が軽くなり気持ちもすっきりすることを実感できました。学習が始まる前に、とてもいい活動でした。5回のストレッチを終えて、伊藤貢さんより子どもたちへメッセージをいただきました。

西川小学校の皆さんへ

毎月1回、ZOOMで皆さんと10分間のストレッチの時間を一緒に過ごすことができ、とても良かったです。このような機会を頂き、ありがとうございました。

立腰や健康委員会の皆さんで考えた「ドレミストレッチ」など、西川小学校の健康づくりへの取り組みは、とても素晴らしいと思います。

私の職業は、健康運動指導士です。運動を通して、皆さんの健康づくりをサポートすることが仕事です。この場を借りて、私が皆さんに伝えたいことは、「自分の体は、自分が大切にする」「自分の健康は、自分で守る」ということです。

生活が便利になった分、私たちは体を動かす機会がどんどん減っています。だからこそ、自分の体・健康に目を向け、少しの時間でもストレッチをしたり、体を動かしたりするなど、自分の体を大切にしようという気持ちと積極的な取り組みが大切です。

皆さんの未来の健康は、「今」の積み重ねでできていきます。運動が健康づくりの全てではありませんが、1つの方法として、今回、皆さんと一緒にやったストレッチをこれからの生活の中に取り入れてください。そして、元気に楽しく毎日を過ごしてください。

これからも、西川小学校の皆さんのご活躍を陰ながら応援しています。

山形済生病院 健康運動指導士 伊藤 貢